



名古屋市 子ども・若者総合相談センターの 取り組みについて

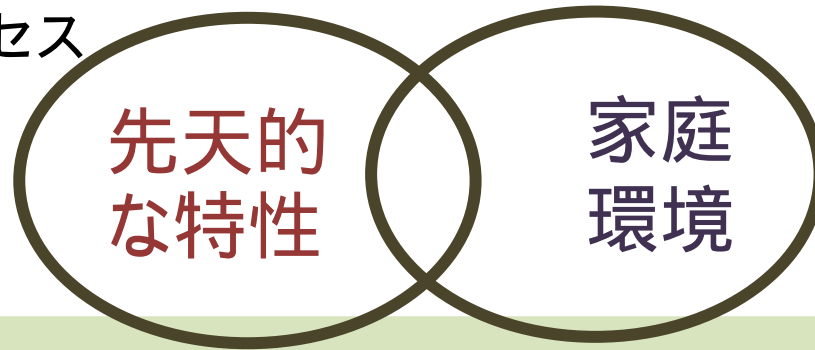
「よりそいネットワーク名古屋」

一般社団法人 草の根ささえあいプロジェクト 代表理事 渡辺ゆりか
特定非営利活動法人 起業支援ネット 代表理事 久野美奈子

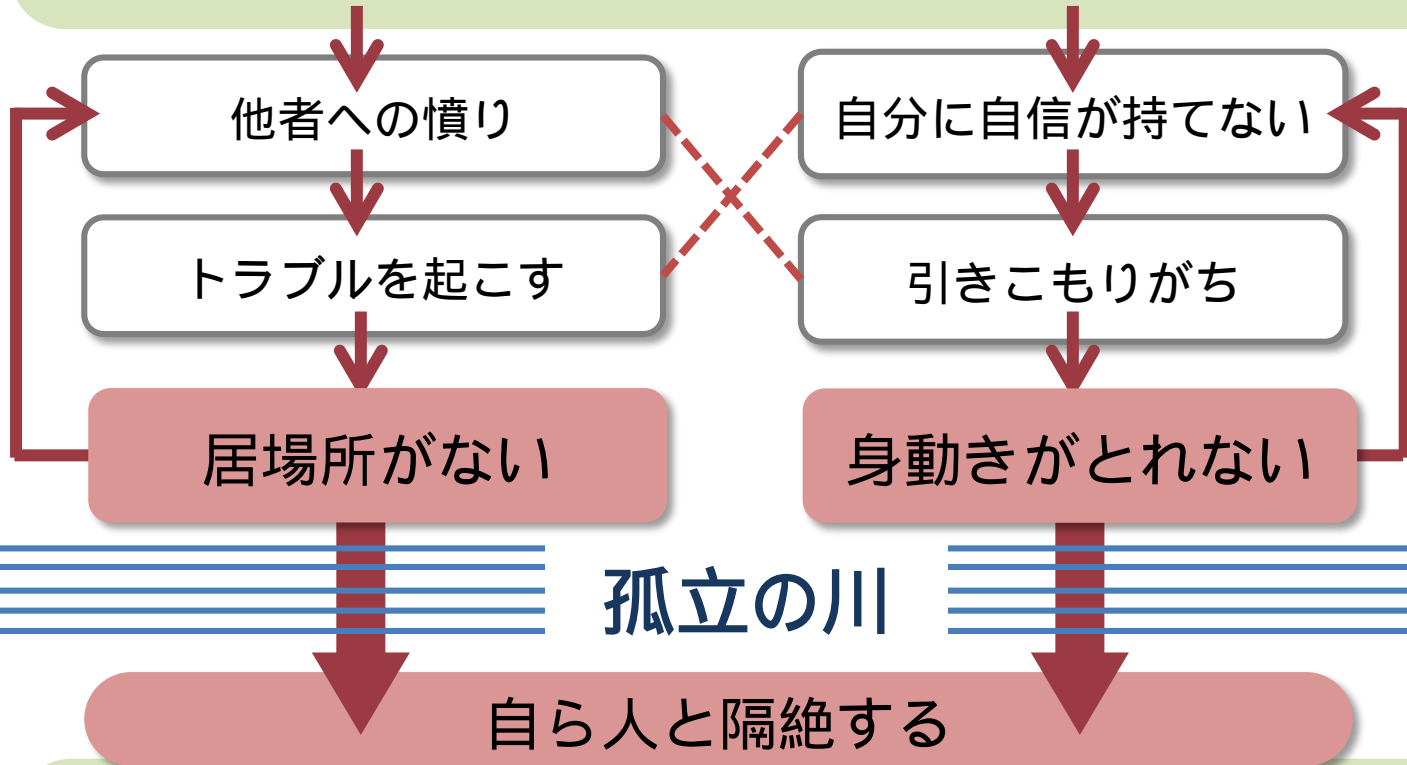
一般社団法人草の根ささえあいプロジェクト
～ 穴をみつける会～



孤立の穴に陥るプロセス



人に理解されない



どうして自分ばかり...

どうせ自分なんて...

社会とつながる力を失う = 穴にいる人

- ・ 住居がない
- ・ 食べる物が無い
- ・ 着る物が無い
- ・ 病院にいけない



ハウスレス

(経済的困窮)

(権利からの排除)

- ・ 家族がいない
- ・ 心配してくれる人がいない
- ・ 心配する相手がいない
- ・ 覚えてくれる人がいない



ホームレス

(関係性の困窮・孤立)

(記憶からの排除)

-
- ・ 経済的困窮（ハウスレス）支援・・・ **なにが**必要か
 - ・ 关系的困窮（ホームレス）支援・・・ **だれが**必要か
(絆の回復、人とのつながり)

ごあいさつ



当センターは、子ども・若者を対象とした相談のワンストップサービスセンターとして、開設しており、ニート、ひきこもりなど、社会生活を営む上で困難を抱える子ども・若者の相談を行い、その子ども・若者の状況に応じた支援機関へつなぎます。

また、様々な困難を抱える子ども・若者を支援する官民の支援機関、団体に構築するネットワークの核となり、ネットワークの中で、その子ども・若者の状況に応じた適切な支援が行われ、最終的には自立できるようになるまで見届ける役割を担います。

待つだけではなく、相談がしたくてもできない人のそばまで近づいていく—

名古屋地域で、既に多様なアプローチで支援を続けている様々な団体や機関とつながり、やわらかく、しなやかなネットワークを編んでいく—

社会に押し出す、引っ張り出すのではなく、足場を一步一步踏み固めながら、その人のペースで進むことによりそう—

誰もが人とのつながりや、役立ちを感じられる社会を目指して、誰もがありのままを認められる暮らしの中で、ひとりひとりの小さな一步を応援するセンターとなれるよう、全力を尽くしてまいります。

名古屋市 子ども・若者総合相談センター概要

開所日：月～土曜日（祝祭日除く）

開所時間：10時～17時（17時以降の相談も可能）

< 相談体制 >

常勤8名、非常勤2名

* 臨床心理士 * 精神保健福祉士 * 社会福祉士

* 産業カウンセラー * キャリアコンサルタント

* 教員 * 保育士

専門家（専門相談員・スーパーバイザー）

* 臨床心理士（2名） * 精神科医（1名）

相談の流れ

名古屋市
子ども・若者
総合相談センター



対象
概ね39歳までの
名古屋市内在住の方

訪問相談

来所相談

継続面談
& 支援の
プランニング

ご本人/ご家族

相談員

民間支援団体・公的支援機関への協力依頼

同行支援

医療

学校

就労

居場所

生活

ケース会議

チーム支援

平成28年度名古屋市子ども・若者総合相談センター実績

平成28年度 新規相談者実数：407人

のべ相談件数(面談・電話・メール等)

5,109件(1か月平均425件)

連携機関数：

249機関件(延べ連携機関数1,937件)

ケース会議数：282回(71機関)

アウトリーチ(訪問支援)数：

951件(199人)

平成29年度4月～6月は、上記(前年度)の1.5倍の総アクション数



困難を抱えた
子ども・若者

非行

OR

不登校

ニート（未就労・未就学）状態
引きこもり状態

長期化

家族・社会からの孤立
困窮

年代別主な アウトリーチの方法

10代

保護者との
綿密な
情報共有

学びや遊び
を入口に
家庭訪問

親密な大人の関わり

20代

自己受容を
支える

短時間で
定期的な
家庭訪問

継続的なつながり

30代

長期化に
対する課題
解決

状況の解決
につなげる
同行支援

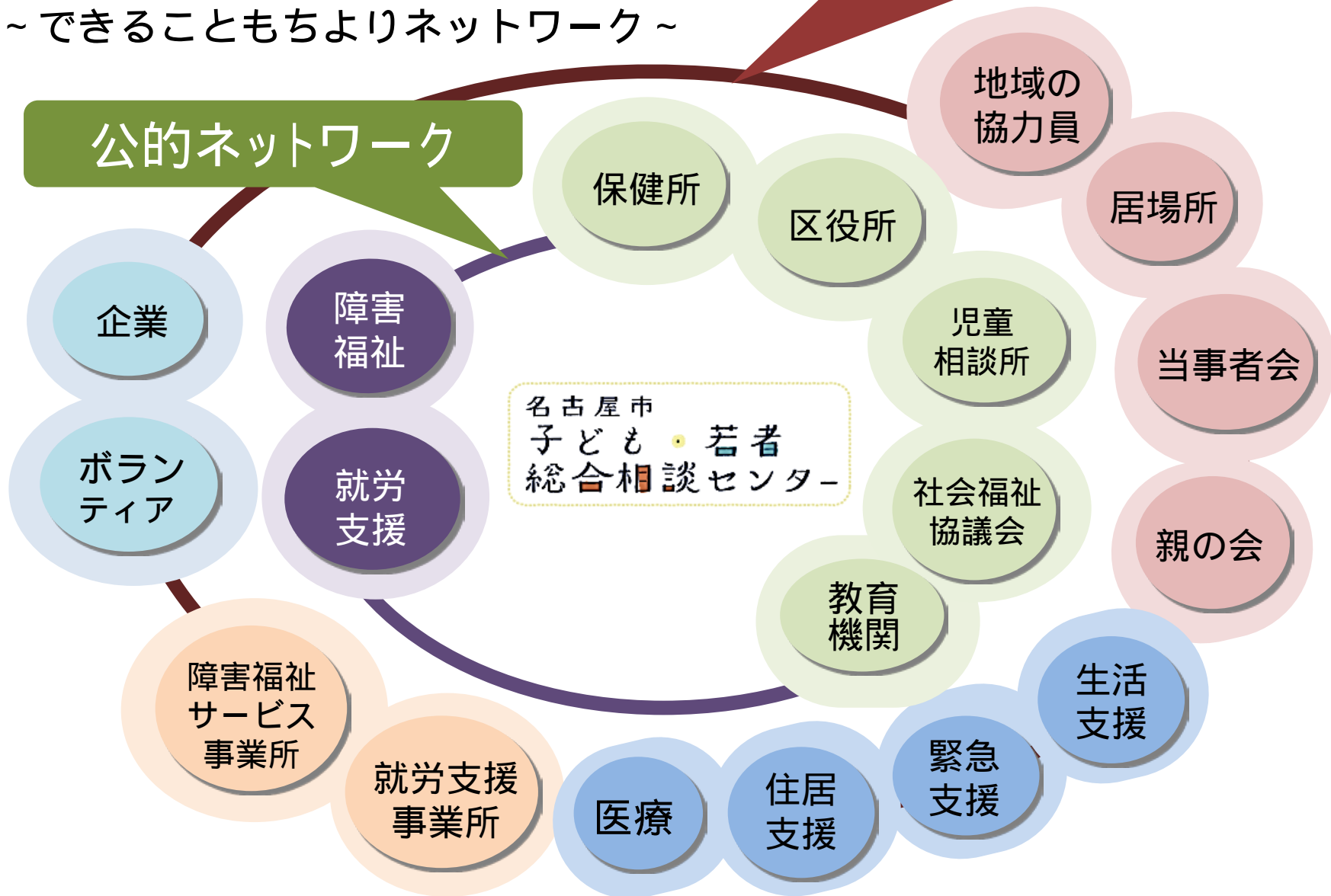
環境・生活支援

ネットワーク体制

～できることもちよりネットワーク～

地域・市民ネットワーク

公的ネットワーク



官民をこえた、多様な地域連携

子ども・若者総合相談センターの協力者

専門性

専門分野	内容
法律	「子どもの権利」を専門とした弁護士団(7名)
発達障害	発達障害の当事者・専門家などの相談 & 対処法のアドバイス
虐待・DV	専門員によるスーパーバイズ
金銭・家計相談	ファイナンシャルプランナーによるアドバイス
アディクション (依存)	アルコール依存・薬物依存・ギャンブル依存へのスーパーバイズ
学習	学び直し、学習サポート
スポーツ・遊び	囲碁、キャッチボール、コーラス・手芸など
同行・訪問	・職員に同行して家庭訪問をする ・支援機関や余暇の場所まで一緒に出向く
話し相手	悩みやこまりごとなど、趣味の話など

専門家面談

ボランティアサポーター

地域・市民性

市民のインフォーマルな力を、困難を抱えた若者に届ける取組み
「よりそいサポーター」

家庭訪問

不登校・引きこもりの家庭等を訪問し、相談者の状況に応じた働きかけを行います



同行支援

支援機関、居場所
公的機関病院
などに同行します



面談・おしゃべり



コミュニケーションの苦手な若者と、会話をすることで、若者の気持ちによりそいます

居場所・プログラム参加



若者たちと一緒に
趣味や楽しみを
一緒に見出します

親密な他者として、よりそい応援してくれる人の存在

第1期：35名 第2期：35名 計70名（男性26名・女性44名）
サポーター実績：1週間で約10稼働（H29年4月～）

よりそいサポーターの活躍

「よりそいサポーター」 による個別の関わり

実施例

- ・歴史の話と一緒にする
- ・勉強を教えてもらう
- ・キャッチボールをする
- ・将棋をする
- ・手芸や工作と一緒にする
- ・旅行プランと一緒に考える
などなど

相談者の希望に合わせて つくるグループ活動

実施例

アニメ
トークの
会

こわか
スタディ
ランド
～学び～

コミュニ
ケーショ
ンSST
の会

わかもん
パーク
～遊び～

野球
トーク
の会

既存の居場所に該当しない・通えない相談者に対し、
ひとり一人の希望や、興味・関心に合わせてメニュー化する

子ども・若者総合相談センターで出会う子ども・若者たち

- ・海を見たことがない
- ・誕生日にケーキで祝ってもらったことがない
- ・文化祭や修学旅行に参加したことがない
- ・サンタクロースが家に来たことがない
- ・釣りやキャンプやたき火をしたことがない
- ・水族館や動物園に行ったことがない
- ・楽器を演奏したことがない
- ・母親にだきしめられたことがない
- ・父親に叱られたことがない
- ・運動会に両親が来てくれたことがない
- ・友だちがひとりもいない

経験からの排除



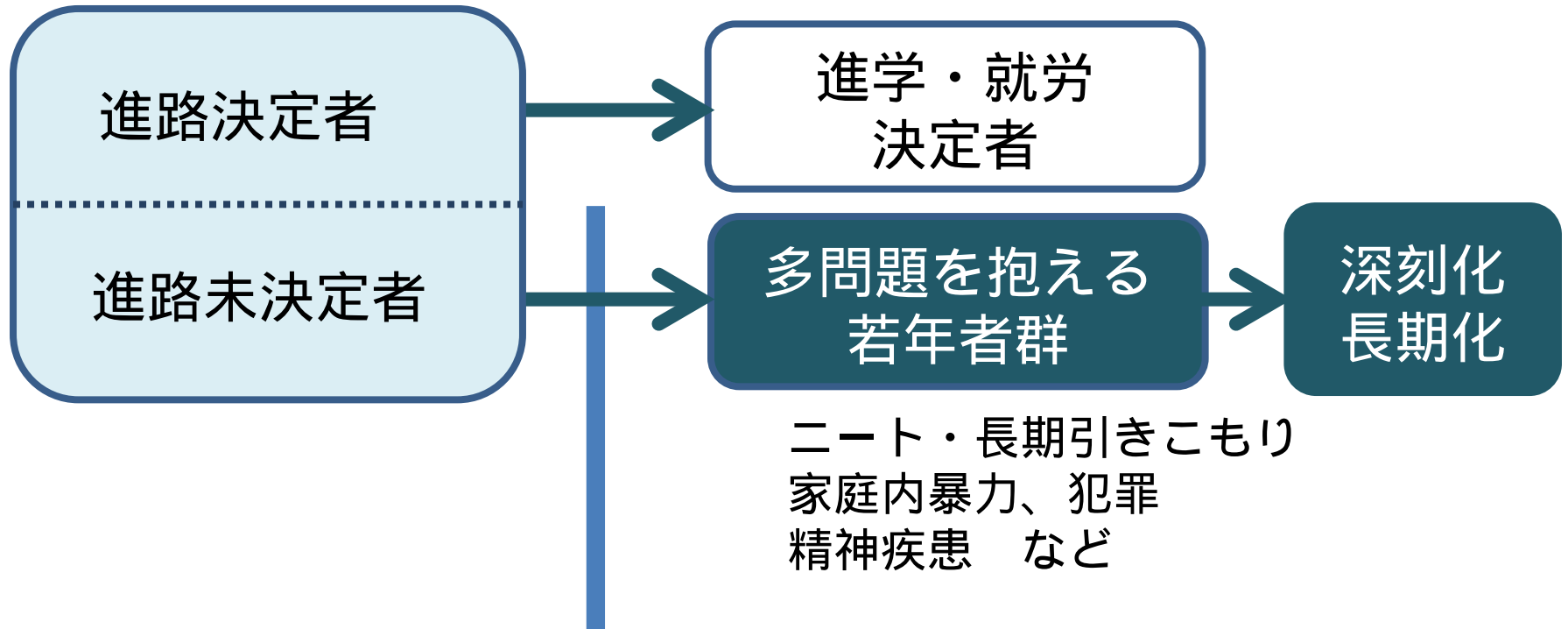
関係性の困窮

「どうして、わたしだけ？」 → 「どうせ、わたしなんて…」

3つの壁 15歳（義務教育後）の壁

<平成27年度>

公立中学校：112校
卒業生17,425人
中学3年生の不登校数605名



学校連携コーディネーターの役割

小・中学校
在籍期間

< 教育機関 >

- ・ 幼・小・中・高校
- ・ 教育センター
- ・ 子ども適応 C
- ・ 子ども応援委員会

中学3年
3学期時点

継続支援が
必要な生徒

+

進路未決定者

卒業後の
つなぎ
支援

高校年齢

高校中退者

就労離職者

ひきこもり等

復学
就労等の
支援

～ 39歳

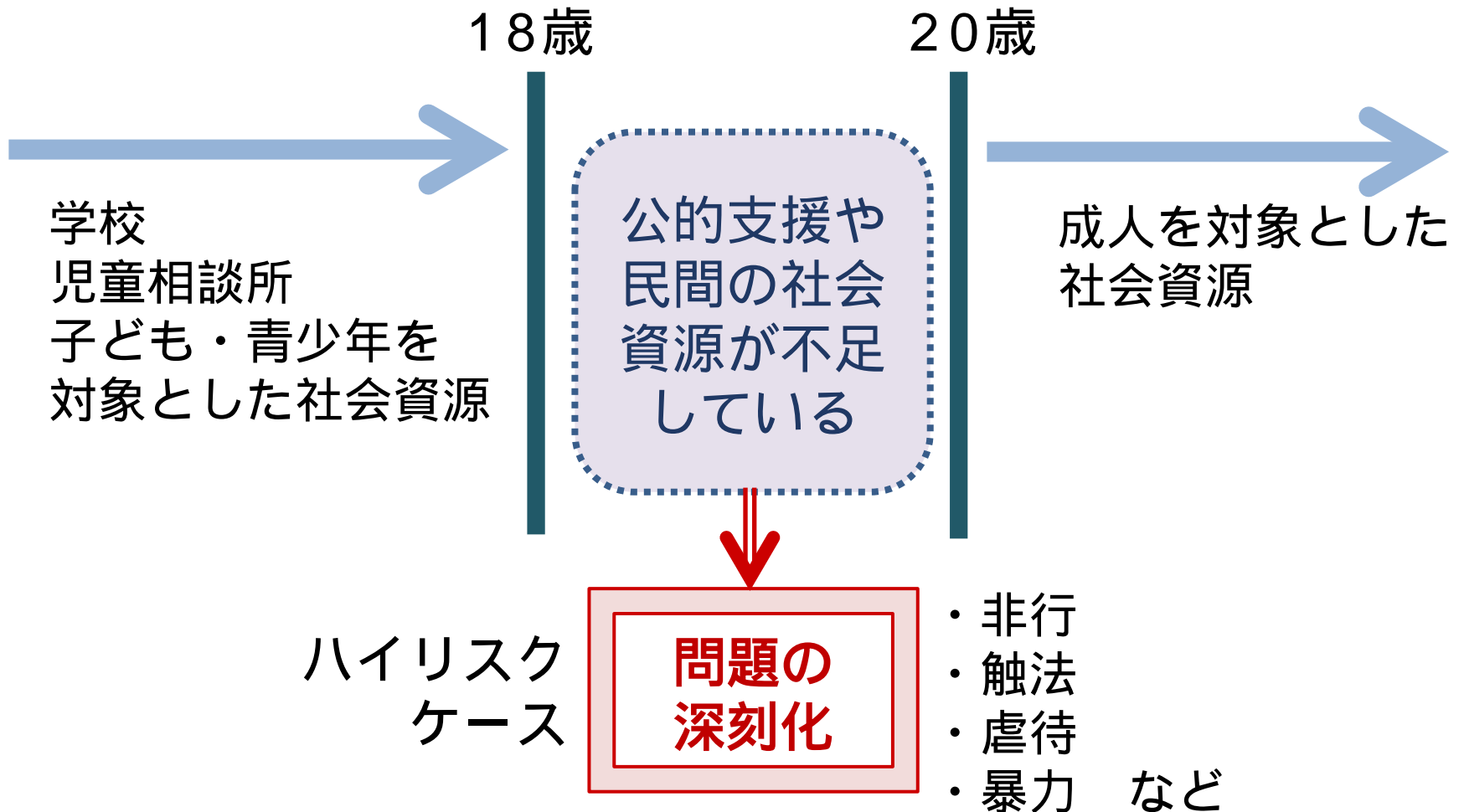
生活支援が
必要な若者

過去の
学校生活
まで
遡る支援

学校・教育
関係機関

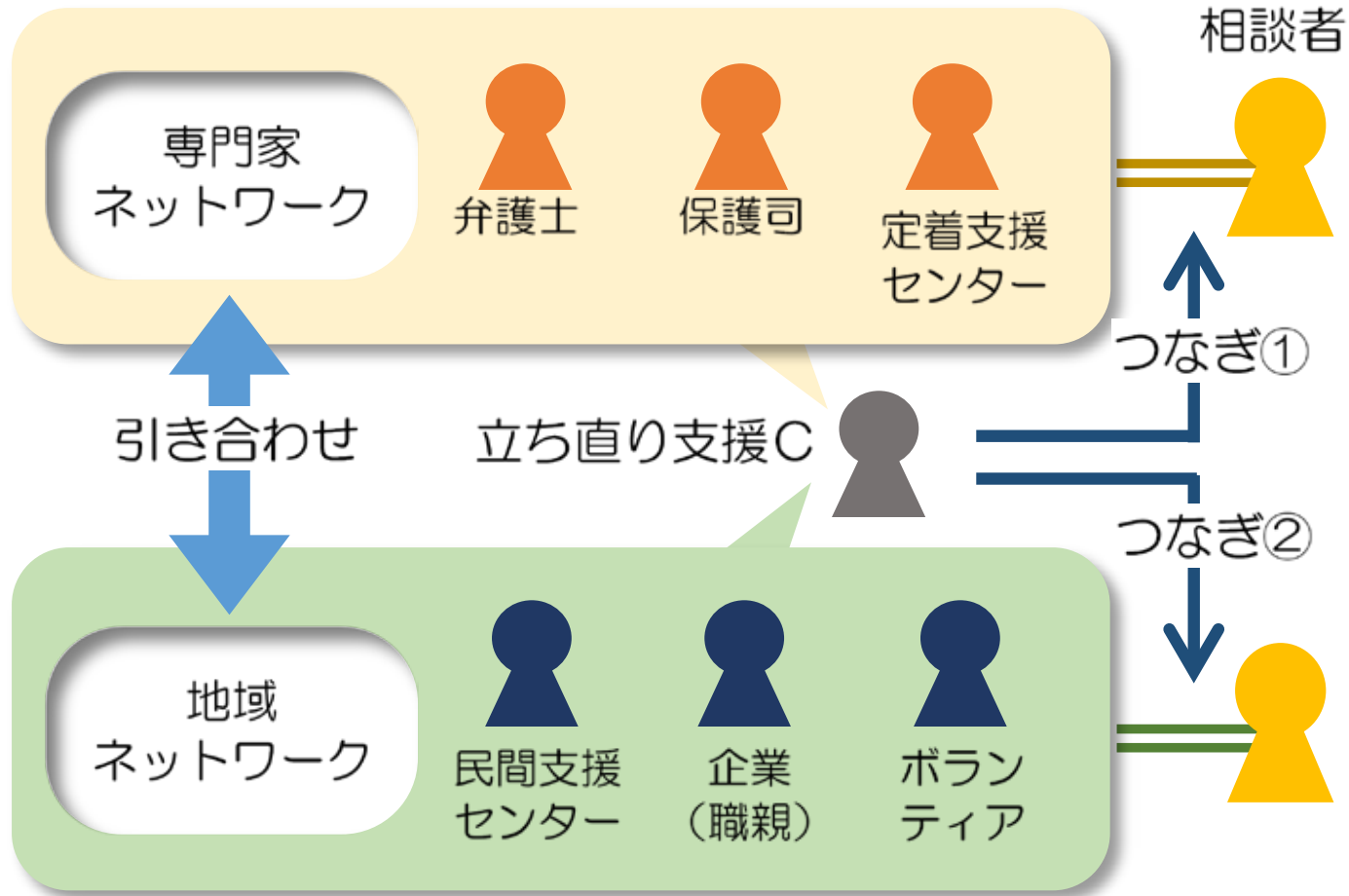
子ども・若者総合相談センターによる
地域の社会資源を活用した継続的な支援

3つの壁 18歳～20歳の壁



立ち直り支援コーディネーターの役割

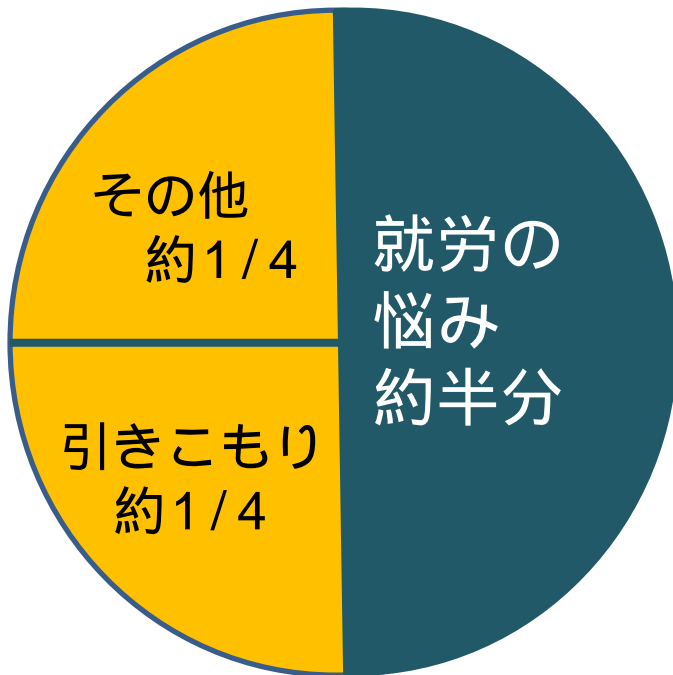
ハイリスクケース・非行ケース・緊急案件を地域と連携しながら対応する



関係機関・関係団体とよりよい連携のための協議を重ねながら、
困難案件にネットワークで対応できる地域をつくっていく

3つの壁 就労支援の壁

20代後半以降の相談内容



既存の機関で就労支援が受けられる人

- ・ 障害を持つ方
- ・ 若者サポートステーションの対象となる方
- ・ 生活困窮者

- ・ 引きこもり
- ・ 長期引きこもり
- ・ 障害のグレーゾーンの方
- ・ 通院中の方
- ・ 生活課題のある方
- ・ 学生

就労支援が受けにくい方

就労に向けた相談支援

就労に至るまでの課題を地域の支援機関との連携により解決し、就労支援機関につなげる。
就労支援機関につながらない相談者に対し、企業やハローワークへの同行等の支援を行う。

就労支援が
受けにくい
相談者

- ・引きこもり
- ・長期引きこもり
- ・障害グレーゾーン
- ・通院中&服薬中
- ・生活課題がある
- ・学生

医療と
の連携

生活
課題の
解決

福祉と
の連携

外出等
の練習

居場所
など

つなぎ先がある

就労支援
機関等に
リファー

つなぎ先がない

企業や
ハローワーク
への同行支援

キャリア相談

就労に向けた
様々な課題の解決

就労支援

中学不登校 & 家庭がゴミ屋敷状態
不衛生な布団の上からほとんど出られず

行政機関・子ども応援委員会等、複数機関の連携会議
引っ越し・片付支援 継続家庭訪問 キャッチボール！

親からの虐待 家出 & ホームレス状態
風俗の仕事に関わる 生活困窮

法律家・行政機関との連携 ホームレス支援団体との連携
住居確保 大家さんの見守り 就労活動の開始！

中学から不登校 卒業後家業手伝い
家業が廃業 5年引きこもり

医療との連携（無料の歯科医） 生活必需品の確保
職業体験（2社） 一人暮らし支援 就労 正規雇用へ！

中学未卒業 父子家庭 & 父の入院（精神障害）
10代一人暮らし（衣食、金銭管理等の暮らしの問題）

夜間中学の手続き 入学後の学校連携
金銭管理 居場所での日々の見守り 学習支援

高校中退 強迫神経症（不潔神経症）
引きこもり 誰とも関わらず3年経過

センターでの定期面談による外出支援 ボランティア
さんとの囲碁対決 アルバイトスタート 復学

場面緘黙・中学から不登校 通信生の高校に入学す
るも、中退 自宅から出られず3年引きこもり

定期的な家庭訪問 通院同行 ポケモンGOで外出
ボランティアさんとの定期的な創作活動



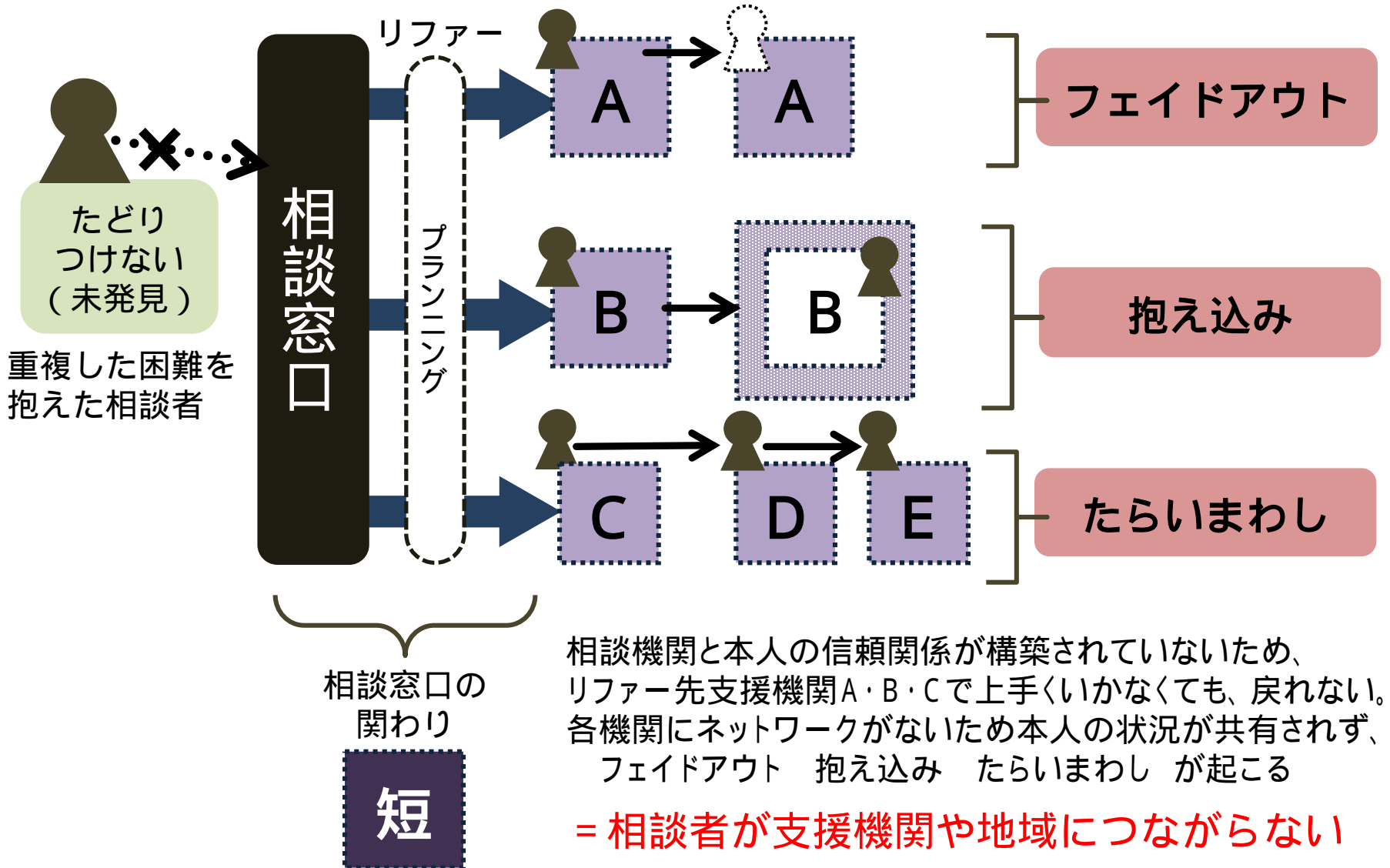
子ども・若者支援に大切な要素

関係性 > 専門性



身近な大人が、優しく手ごたえのある存在になること

相談窓口の失敗パターン



フェイドアウト

抱え込み

たらいまわし

相談窓口の
関わり

短

相談機関と本人の信頼関係が構築されていないため、リファール先支援機関A・B・Cで上手くいかなくても、戻れない。各機関にネットワークがないため本人の状況が共有されず、フェイドアウト 抱え込み たらいまわし が起こる

= 相談者が支援機関や地域につながらない

名古屋市子ども・若者総合相談センターの相談支援体制

